

【2004年春季シンポジウムのお知らせ】

2004年春季シンポジウムを次の要領で開催致します。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- ◆ 日時 : 2004年3月27日(土) 13:30~17:00
- ◆ 全体の題名 : 「フランス哲学と生命の問題」
- ◆ 報告者と報告題目 :
村松正隆氏(跡見学園女子大学)「生命の単位と哲学—ビシャの生命論とその影響」
米虫正巳氏(関西学院大学)「生命と個体—生命をめぐる哲学的言説の一側面について」
小泉義之氏(立命館大学)「生命理論と生命哲学—ドゥルーズ/ガタリを参照して」
- ◆ 司会 : 山形頼洋氏(同志社大学)
- ◆ 会場 : 同志社大学今出川キャンパス 至誠館31番会議室
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601
JR京都駅より地下鉄烏丸線で約10分、今出川駅下車すぐ
- ◆ シンポジウム終了後、懇親会を予定していますので、是非御参加ください。

【新入会員】(2003年10月以降)

朝倉友海、佐藤真紀、竹中利彦、中村大介

【お知らせ】

- ★ 第30回フランス語哲学会連合の国際学会は下記の日程・会場で行なわれ、5つの分科会で研究発表が為されます。申し込み用紙は久米博まで請求してください。
XXXe Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française
L'homme et la réflexion mardi 24~samedi 28 août, 2004
Faculté de Médecine, Grand Amphithéâtre Kernéis 1, rue Bias-44000 NANTES
1re section: Réflexion, être et existence 2e section: Réflexion et philosophie pratique
3e section: Anthropologie et réflexion 4e section: Réflexion et philosophie des sciences
5e section: Histoire de la philosophie
- ★ 日本とフランスに関する優れた研究・著作に贈られる第20回(03年度)渋沢・クローデル賞(日仏会館・毎日新聞社主催)の本賞に、本会会員で徳島大学総合科学部助教授、山口裕之氏の『コンディヤックの思想—哲学と科学のはざままで』(勁草書房)が選ばれました。
- ★ 2004年9月の大会ではシンポジウムの他に、一般研究発表も行います。口頭発表では、その場での質疑応答という、貴重な場があります。これは印刷論文にはない特色です。公募論文応募のみならず、こちらにも積極的なご参加をお願い致します。
 - ◆ 研究大会日時: 2004年9月11日(土) ◆ 場所: 東京大学
 - ◆ 発表時間: 25分(質疑時間は含みません。発表後、適宜、質疑時間を設けます。)
 - ◆ 応募要領: 発表要旨(3000字程度)3部および返信用封筒を、5月末日までに事務局(松永澄夫)宛に送ること。発表の採否は7月中旬までに通知します。

【日仏哲学会事務局】

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町1043-17 松永澄夫 (Tel: 0297-66-6376)

【2004 年 秋 季 研 究 大 会 の お 知 ら せ】

2004 年秋季研究大会を別紙プログラムの要領で開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。研究大会および懇親会の出欠を 8 月 20 日までにお知らせください。懇親会参加費は 4000 円です。当日お支払いください（出席申し込みの上はキャンセルなさいませんようお願い致します）。

- ◆ 期日：2004 年 9 月 11 日（土）
- ◆ 研究大会会場： 東京大学本郷キャンパス 法文 1 号館・2 号館
- ◆ 〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩 8 分
地下鉄千代田線湯島駅または根津駅徒歩 8 分 地下鉄南北線東大前駅徒歩 3 分

★ 役員選挙について

今年は役員改選の年になっています。同封の投票用紙にてご投票ください。返信用封筒を同封しています。切手は各自お貼りくださいますようお願い申し上げます。7 月 17 日（消印有効）までに投函なさった投票が有効です。

★ 会費納入について

昨年まで、7 月の会報とともに会費納入のための振り込み用紙を同封いたしましたが、今年から、9 月の大会もしくは 10 月の会報をお送りする際に納入をお願いすることになりました。これは、会計年度が 9 月から始まることにあわせた処置で、昨年の総会でご説明し、ご承認いただいた方針に従うものです。

そこで、今回は、6 月 30 日現在で過年度未支払の会員の方にのみ振り込み用紙を同封しています。その方々は、会報をお届けした封筒に記載の金額をご納入くださいますようお願い申し上げます。また、今回、納入いただいた方々にも、9 月大会時か 10 月の会報でお送りする振り込み用紙にて、2004 年 9 月から始まる会計年度分の会費をご納入いただくこととなりますので、予めご了承ください。なお、年会費は 3000 円です。

★ 2005 年研究大会一般研究発表応募要領

2005 年から春季・秋季の両研究大会で一般研究発表が行われることになりました。春季大会は 3 月 26 日同志社大学で、秋季大会は 9 月 10 日法政大学で行われる予定です。発表希望者は、発表要旨（3000 字程度）3 部及び切手を貼付した返信用封筒を、春季に関しては 2004 年 11 月末日までに、秋季に関しては 2005 年 5 月末日までに下記事務局宛にお送り下さい。

★ 新入会員（2004 年 2 月以降）

金森修、近藤和敬、曾我千亜紀、長網啓典、平光哲朗、山内誠

★ お知らせ

- ◆ 2003 年 12 月 6 日にフランス・モンペリエを本部として「ミシェル・アンリ国際学会」が設立されました。入会を御希望の方は、山形頼洋氏または事務局まで、190 円切手を貼った角 2 の返信用封筒同封の上、御連絡下さい。
- ◆ 会員名簿で空欄となっている住所不明の会員に関し、連絡先を御存知の方は、是非とも事務局まで御連絡いただくよう、御願い申し上げます。

☆ 住所変更など各種連絡は下記宛てにお願いします。日仏会館には係の者は常駐しておりません。 〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫

日 仏 哲 学 会 事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 日仏会館内

日仏哲学会 2004 年秋季研究大会プログラム

2004 年 9 月 11 日 於東京大学本郷キャンパス

一般研究発表 10時～12時 55分

A 会場 (法文 1 号館 212 番教室)

司会：財津 理

- | | | |
|------|-----------------------|------------------|
| 竹中利彦 | デカルトと政治論 | 明石医療センター附属看護専門学校 |
| 長綱啓典 | 初期ライプニッツの最善世界説 | 学習院大学 |
| 清水洋貴 | 前期ライプニッツにおける観念について | 筑波大学 |
| 福田肇 | 他者と倫理 | |
| | ～ナベールにおける「一体性原理」について～ | レンヌ第一大学 |

B 会場 (法文 1 号館 214 番教室)

司会：河野哲也

- | | | |
|------|--------------------------|--------|
| 伊東俊彦 | ベルクソンにおける「決定論」と「自由」の問題 | 東京大学 |
| 平光哲朗 | ベルクソンにおける物質の諸相 | |
| | ー物質から創造論を考察するー | 大阪大学 |
| 小林 徹 | 哲学的言説と文学性 | 慶応義塾大学 |
| 佐藤香織 | レヴィナスにおける時間性 | |
| | ーディアクロニー概念からの未来と過去の位置づけー | 東京大学 |

C 会場 (法文 1 号館 215 番教室)

司会：廣瀬浩司

- | | | |
|------|---------------------------------|--------|
| 近藤和敬 | 生命論の中のフーコー：カンギレムからフーコーへ | |
| | ～言葉と物の錯綜体の分析法～ | 大阪大学 |
| 原 一樹 | ドゥルーズ哲学の政治性を巡る一考察 | 東京大学 |
| 中村大介 | 具体化の論理・差延の論理ーシモンドンとデリダ | 関西学院大学 |
| 宮崎裕助 | コミュニケーションからテレコミュニケーションへ | |
| | デリダにおける準・超越論的コミュニケーション論の可能性 | 東京大学 |
| | 控え室 (法文 1 号館 216 番教室・研究発表大会時のみ) | |

総会

14時～14時 25分

(法文 2 号館 1 番大教室)

シンポジウム 14時 30分～17時 30分

(法文 2 号館 1 番大教室)

フーコーの現在 ～没後 20 周年のために～ 司会：小林 康夫

酒井 隆史：クラウゼヴィッツの転倒をめぐる～70 年代のフーコー～

菅谷 憲興：図書館と空隙 ～フーコーと文学～

慎改 康之：哲学とフーコー ～『知の考古学』を中心に～

懇親会

17時 45分～20時

(学士会館本郷分館)

★ 2004 年 9 月 総会 および 研究大会

去る9月11日、総会および研究大会が、東京大学本郷キャンパスで開催されました。終了後、学士会館本郷分館で懇親会がもたれました。

総会

別紙資料をご覧ください。

シンポジウム・一般研究発表

前回会報に同封のプログラム通りに行われました。

★ 新入会員 (2004 年 7 月以降)

石川正幸、内海健、枝村祥平、大矢靖之、奥村大介、萱野稔人、酒井隆史、佐々木雄大、佐藤啓介、菅谷憲興、鈴木康則、関村誠、高橋若木、田口茂、長谷川琢哉、藤田尚志、藤本玲、三河隆之、宮野晃一郎、山倉裕介、山森裕毅、横山奈那、李鳳新、渡辺和典

★ 会費納入について

昨年まで、7月の会報とともに会費納入のための振り込み用紙を同封いたしましたが、今年から、秋季大会時もしくは10月の会報をお送りする際に納入をお願いすることになりました。これは、会計年度が9月から始まることにあわせた処置で、昨年の総会でご説明し、ご承認いただいた方針に従うものです。

今回、納入をお願いする会費は、2004 年 9 月—2005 年 8 月の会計年度までの分の会費です。年会費は3000円です。過年度未納入がある会員の方は溯ってご納入くださいますようお願い申し上げます。会報をお届けした封筒に今回お振込をお願いしたい金額が記載されています。どうぞご協力をお願い致します。

【 お知らせ 】

- ◆ 『フランス哲学・思想研究』第10号の論文を募集します。公募論文送付先が変更になりました。ご注意ください。

- 1) 原稿の形式：ワープロによる完全原稿。和文・仏文を問わず1行全角33字(半角66字)の設定で横書き、注も含めて370行以内。和文・仏文いずれの場合も仏文レジュメ(上記設定でタイトルも含め13行以内)を本文とは別のページに付すこと。以上をA4版1ページ33字×27行でプリントアウトしたものを3部提出。原稿は返却しない。
- 2) 原稿作成上の注意：アクセントやウムラウト、専門用語に使用される特別な外字などは赤線で囲うこと。欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。
- 3) 原稿締め切り：2004年12月末日。切手を貼った返信用封筒を同封すること。

送付先 〒561-0881 豊中市中桜塚2-13-20 望月太郎

- ◆ 2005年春季から、シンポジウムに加えて、一般研究発表も行います。3月26日(土曜日)、同志社大学が会場です。発表希望者は、発表要旨(3000字程度)3部および切手を貼った返信用封筒を2004年11月末日までに、下記事務局宛にお送り下さい。

事務局 〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町1043-17 松永澄夫

- ☆ 住所変更など各種連絡は上記事務局宛てにお願いします。日仏会館には係の者は常駐しておりません。

【2005 年 春 季 研 究 大 会 の お 知 ら せ】

2005 年 春 季 研 究 大 会 を 次 の 要 領 で 開 催 致 し ま す 。 ご 参 加 く だ さ い ま す よ う お 願 い 申 し 上 げ ま す 。

◆ 日 時 : 2005 年 3 月 26 日 (土) 10:00~17:00

◆ 会 場 : 同 志 社 大 学 今 出 川 キ ャ ン パ ス 寧 静 館 5 F 会 議 室

〒602-8580 京 都 市 上 京 区 今 出 川 通 烏 丸 東 入 玄 武 町 601

JR 京 都 駅 より 地 下 鉄 烏 丸 線 で 約 10 分、今 出 川 駅 下 車 す ぐ (同 封 地 図 参 照)

一 般 研 究 発 表 10 時 ~ 12 時 40 分

山 本 祐 歌 氏 : デ カ ル ト に お け る 精 神 と 身 体 の 実 体 的 合 一 に つ い て (名 古 屋 大 学)

司 会 : 米 虫 正 巳 氏

朝 倉 友 海 氏 : ス ピ ノ ザ に お け る 理 性 と 直 観 知 (第 二 種 と 第 三 種 の 認 識) の 区 別 に つ い て
一 特 に ド ウ ル ー ズ に よ る 第 二 種 認 識 の 解 釈 を 中 心 と し て (東 京 大 学)

司 会 : 米 虫 正 巳 氏

沼 田 千 恵 氏 : 習 慣 と 集 団 一 後 期 サ ル ト ル に お け る ヘ ク シ ス の 問 題 (同 志 社 大 学)

司 会 : 小 林 道 夫 氏

石 岡 良 治 氏 : 構 造 か ら 機 械 へ ド ウ ル ー ズ 哲 学 に お け る ガ タ リ の 位 置 (東 京 大 学)

司 会 : 小 林 道 夫 氏

シ ン ポ ジ ウ ム 14 時 ~ 17 時

「 医 学 と フ ラ ン ス 哲 学 」

司 会 : 小 泉 義 之 氏

山 田 弘 明 氏 : デ カ ル ト の 形 而 上 学 と 医 学

池 辺 義 教 氏 : 医 学、こ の 間 に あ る も の — Science の 医 学 と Conscience の 医 学

加 藤 敏 氏 : Merleau-Ponty の 思 想 か ら み る 現 代 医 学 の 方 法 論

◆ シ ン ポ ジ ウ ム 終 了 後、懇 親 会 を 予 定 し て い ま す の で、是 非 御 参 加 く だ さ い。

【 新 入 会 員 】 (2004 年 10 月 以 降)

ABDOUL TIEBEY-DALOU、石 田 圭 子、郷 原 佳 以、松 本 潤 一 郎、宮 島 優、吉 田 健 太 郎

【 お 知 ら せ 】

★2005 年 9 月 の 大 会 の 一 般 研 究 発 表 を 公 募 し ま す 。 口 頭 発 表 で は、そ の 場 で の 質 疑 応 答 と い う、貴 重 な 場 が あ り ま す 。 こ れ は 印 刷 論 文 に は な い 特 色 で す 。 公 募 論 文 応 募 の み な ら ず、こ ち ら に も 積 極 的 な ご 参 加 を お 願 い 致 し ま す 。

◆ 研 究 大 会 日 時 : 2005 年 9 月 10 日 (土) ◆ 場 所 : 法 政 大 学

◆ 発 表 時 間 : 25 分 (質 疑 時 間 は 含 み ま せ ン 。 発 表 後、適 宜、質 疑 時 間 を 設 け ま す 。)

◆ 応 募 要 領 : 発 表 要 旨 (3000 字 程 度) 3 部 お よ び 切 手 を 貼 っ た 返 信 用 封 筒 を、5 月 末 日 ま で に 事 務 局 (松 永 澄 夫) 宛 に 送 る こ と 。 発 表 の 採 否 は 7 月 中 旬 ま で に 通 知 し ま す 。

★日 仏 会 館 で は、毎 年、日 仏 共 同 研 究 の 助 成 を し て い ま す 。 例 年、応 募 締 め 切 り は 12 月 初 旬 で す 。 ご 関 心 が あ る 方 は、適 宜、日 仏 会 館 に お 問 い 合 わ せ く だ さ い 。

【 日 仏 哲 学 会 事 務 局 】

〒301-0005 茨 城 県 龍 ヶ 崎 市 川 原 代 町 1043-17 松 永 澄 夫 (Tel : 0297-66-6376)

【2005 年 秋 季 研 究 大 会 の お 知 ら せ】

2005 年度秋季研究大会が次の要領で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。研究大会および懇親会の出欠を 8 月 20 日までに同封した葉書にてお知らせください。住所変更などがありましたら併せてその葉書に朱筆にてお知らせいただきますようお願いいたします。

◆ 日時： 2005 年 9 月 10 日（土） 10:30～18:10

◆ 会場： 法政大学市ヶ谷キャンパス 62 年館（JR 市ヶ谷駅より徒歩 10 分）

一般研究発表 10 時 30 分～12 時 40 分

A 会場:62 年館 211 教室 司会:村上勝三(東洋大学)

清水洋貴 : ライプニッツにおける「観念」と「思考」について 筑波大学

枝村祥平 : 後期ライプニッツ哲学史における「身体」と「表現」 京都大学

杉本隆司 : フェティシズムと政治言説—A.コントとコンスタンを中心に 一橋大学

B 会場:62 年館 212 教室 司会:金森修(東京大学)

神山 薫 : 結実と逸脱の場—持続の哲学が示唆する「現在」について 一橋大学

山田秀敏 : ベルクソン哲学における過去について 中京学院大学

藤田尚志 : ベルクソンにおける身体概念—フランス唯心論の再検討 リール第三大学

C 会場:62 年館 213 教室 司会:杉村靖彦(京都大学)

越門勝彦 : 悪を構成する視角—ジャン・ナベールの道徳哲学 東京大学

國領佳樹 : メルロー＝ボンティの認識論—その形而上学批判と懷疑論への対応から
首都大学東京

原田雅樹 : リケールの解釈学的現象学は科学哲学にヒントを与えうるか 関西学院大学

総会 13 時 50 分～14 時 20 分 (62 年館 211 教室)

シンポジウム 14 時 30 分～18 時 10 分 (62 年館 211 教室)

「フランス政治哲学の現在」 司会 三浦信孝 (中央大学)

宇野重規 : トクヴィル復興の意味 東京大学

北川忠明 : 共和主義の再審:共和主義と自由主義の統合 山形大学

松葉祥一 : 民主主義はデモスとともに——ランシエールのデモクラシー論

神戸市看護大学

懇親会 18 時 30 分～20 時 30 分 (ボアソナードタワー25 階スタッフクラブ、会費 3000 円)

【新入会員】(2005 年 2 月以降)

内山智子、亀井大輔、榊原達哉、佐々木究、佐藤勇一、杉本隆司、高島香、辻村暁子、橋詰圭一、
原田雅樹、平野一比古、藤井千佳世、森亮子、山田智正、Michel Dalissier

【お知らせ】

2005 年 9 月 23 日から 25 日にかけて、パリカトリック学院の哲学部にて、ナベールに関する初めての国際コロク (Penser l'éthique avec Jean Nabert)が開催されます。詳細は杉村靖彦 (京都大学) までお問い合わせ下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫 (Tel : 0297-66-6376)

★ 2005 年 9 月 総会 および 研究大会

去る 9 月 10 日、総会および研究大会が、法政大学市ヶ谷キャンパスで開催されました。終了後、ボアソナードタワー・スタッフクラブで懇親会がもたれました。

総会

別紙資料（3 枚）をご覧ください。

シンポジウム・一般研究発表

前回会報に同封のプログラム通りに行われました。

★ 新入会員（2005 年 7 月以降）

金子智太郎、佐藤真之、手塚博、村上靖彦、本吉佳澄、山口裕人

★ 会費納入について

9 月の大会会場受け付けで会費のご納入いただいた方を除く会員の皆さま、2005 年 9 月—2006 年 8 月の会計年度の会費納入をお願いいたします。年会費は 3000 円です。過年度未納入がある会員の方は溯ってご納入くださいますようお願い申し上げます。会報をお届けした封筒に今回お振込をお願いしたい金額が記載されています。どうぞご協力をお願い致します。（大会時に日仏哲学会公印のない会費領収書を受け取られた方で、公印押印のものが必要な方は交換します。お申し出ください。）

【 お知らせ 】

◆ 『フランス哲学・思想研究』第 11 号の論文を募集します。

- 1) 原稿の形式：ワープロによる完全原稿。和文・仏文を問わず 1 行全角 33 字（半角 66 字）の設定で横書き、注も含めて 370 行以内。和文・仏文いずれの場合も仏文レジュメ（上記設定でタイトルも含め 13 行以内）を本文とは別のページに付すこと。以上を A4 版 1 ページ 33 字×27 行でプリントアウトしたものを 3 部提出。原稿は返却しない。
- 2) 原稿作成上の注意：アクセントやウムラウト、専門用語に使用される特別な外字などは赤線で囲うこと。欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。
- 3) 原稿締め切り：2005 年 12 月末日。切手を貼った返信用封筒を同封すること。

送付先 〒561-0881 豊中市中桜塚 2-13-20 望月太郎

- ◆ 会員の声（総会資料参照）の原稿を募集します。締切・送付先 上記と同じ、望月宛て
- ◆ 2006 年春季大会（3 月 25 日土曜日、同志社大学）の一般研究発表者を募集します。希望者は、2005 年 11 月末日までに、発表要旨（3000 字程度）3 部および 80 円切手を貼った返信用封筒を、事務局〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫宛にお送り下さい。
- ◆ すでにお知らせしたように、フランス語哲学会連合の第 31 回国際学会は 2006 年 8 月 29 日～9 月 2 日、ブダペストの ELTE 大学で開催されます。詳細は、久米博 Fax.03-3394-8504 か、E-mail:asp1f@ludens.elte.hu に照会してください。
- ◆ インターネットによる討論会(visioconférence):《HOMMAGE à PAUL RICOEUR》
フランス側： F.Dosse（歴史学者）、O.Mongin（Esprit 編集長）
日本側： 久米博、杉村靖彦 他（どなたでも参加歓迎）
日時: 11 月 5 日(土)17 時 場所: 東京日仏学院

【2006 年春季研究大会のお知らせ】

2006 年春季研究大会を次の要領で開催致します。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆ 日時： 2006 年 3 月 25 日（土） 10:00～17:00

◆ 会場： 同志社大学今出川キャンパス 寧静館 5F

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町 601

JR 京都駅より地下鉄烏丸線で約 10 分、今出川駅下車すぐ（同封地図参照）

一般研究発表 10時～12時10分

A 会場： 寧静館5F 会議室 司会：山形頼洋氏

森亮子氏：神への愛—人々が一致する第三種の原理として—（同志社大学）

金子智太郎氏：ベルクソンにおけるイマージュと持続—『物質と記憶』第4章をふまえて—
（東京芸術大学）

山倉裕介氏：メルロ＝ポンティにおける「意味作用 signification」（京都大学）

B 会場： 寧静館5F 504 号室 司会：檜垣立哉氏

手塚博氏：ミシェル・フーコーの権力論とイデオロギー（東京大学）

亀井大輔氏：レヴィナスにおける「作品」の概念（立命館大学）

シンポジウム 13時30分～17時 寧静館5F 会議室

「エピステモロジーの現代的展開」 司会 河野哲也氏

山口裕之氏：ピアジェとチョムスキーの論争——『認識の発生』の認識論

近藤和敬氏：20世紀のフランス数理哲学——ジャン・カヴァイエスの系譜

金森修氏：フランスの医学哲学——ミルコ・グルメクを中心に

◆ シンポジウム終了後、懇親会を予定していますので、是非御参加ください。

【会費納入のお願い】

会費未納分がある会員には振替用紙を同封しますので、納入をお願いします。封筒の宛名の下に、未納分の金額が記してあります。行き違いの場合はご容赦ください。

【新入会員】（2005 年 10 月以降） 森岡邦泰、磯部悠紀子

【お知らせ】

★2006 年 9 月の大会の一般研究発表を公募します。口頭発表では、その場での質疑応答という、貴重な場があります。これは印刷論文にはない特色です。公募論文応募のみならず、こちらにも積極的なご参加をお願い致します。

◆ 研究大会日時：2006 年 9 月 9 日 ◆ 場所：法政大学

◆ 発表時間：25 分（質疑時間は含みません。発表後、適宜、質疑時間を設けます。）

◆ 応募要領：発表要旨（3000 字程度）3 部および 80 円切手を貼った返信用封筒を、5 月末日までに下記事務局宛に送ること。発表の採否は7月中旬までに通知します。

事務局 〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫

☆ 住所変更など各種連絡は上記事務局宛てにお願いします。日仏会館には係の者は常駐していません。

【2006 年 秋 季 研 究 大 会 の お 知 ら せ】

2006 年度秋季研究大会を次の要領で開催致します。皆様のご参加をお待ちしています。研究大会および懇親会の出欠を 8 月 20 日までに同封した葉書にてお知らせください。住所変更などがありましたら併せてその葉書に朱筆にてお知らせいただきますようお願いいたします。

◆ 日時： 2006 年 9 月 9 日 (土) 10:00~17:40

◆ 会場： 法政大学市ヶ谷キャンパス 62 年館 (JR 市ヶ谷駅より徒歩 10 分)

一般研究発表 10 時~12 時 10 分

A 会場:211 教室 司会:杉山 直樹 (学習院大学)

伊多波 宗周 : プルードンにおける「社会」について 東京大学

藤田 尚志 : ベルクソンと目的論の問題~『創造的進化』から『二源泉』へ~

日本学術振興会特別研究員

三河 隆之 : ジャンケレヴィッチのベルクソン 読解の変遷と逸脱

東京大学

B 会場:212 教室 司会:村瀬 鋼 (成城大学)

高橋 若木 : 沈黙のコギトの語る言葉~無償性のアポリア~ 東京大学

小林 徹 : 身体の哲学と文学性~メルロー=ポンティとドゥルーズ~

慶應義塾大学

山森 裕毅 : ドゥルーズにおけるアルトー概念の使用について

~無能力(impouvoir)の観点から~ 大阪大学

総会 13 時 30 分~13 時 55 分 (211 教室)

シンポジウム 14 時~17 時 40 分 (211 教室)

「パスカルと現代——パスカル解釈をめぐって」

司会 山田 弘明 (名古屋大学)

塩川 徹也 : パスカルにとって「パンセ」とは何であったか

東京大学

山上 浩嗣 : パスカルにおける「習慣」の問題

関西学院大学

武田 裕紀 : パスカルにとって真空とはどういう問題だったのか

英知大学

懇親会 18 時~20 時 (ルーテル市谷センター 2F 会議室 会費 3000 円)

新宿区市谷砂土原町 1-1 TEL:03-3260-8621

【新入会員】(2006 年 2 月以降) 小野 文

☆ 中田光雄理事、副会長を辞任：中田理事は「会員の声」に関する「理事会申し合わせ」に反対の意思を表明するため、副会長辞任を理事会に申し出、理事会はそれを承認した。

【日仏哲学会事務局】

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫 (Tel : 0297-66-6376)

★ 2006 年 9 月 総会 および 研究大会

去る 9 月 9 日、総会および研究大会が、法政大学市ヶ谷キャンパスで開催されました。終了後、ルーテル市谷センターで懇親会がもたれました。

総会

別紙資料（2 枚）をご覧ください。

シンポジウム・一般研究発表

前回会報に同封のプログラム通りに行われました。

★ 新入会員（2006 年 7 月以降）

岩瀬恭一、大野岳史、川上洋平、高瀬啓介、塚田重太郎、野呂康、藤岡俊博、藤田公二郎
松井久、山縣舞子、山上浩嗣、若松猛

★ 会費納入について

9 月の大会会場受け付けで会費をご納入いただいた方等を除く会員の皆さま、2006 年 9 月—2007 年 8 月の会計年度の会費納入をお願いいたします。年会費は 3000 円です。過年度未納入がある会員の方は溯ってご納入くださいますようお願い申し上げます。会報をお届けした封筒に今回お振込をお願いしたい金額が記載されています。

応募論文等の増加に伴い、11 号より機関誌の体裁、デザインを刷新しました。印刷代が大幅に増加しています。予算案をご覧になれば分かります通り、危機的な赤字予算です。会費納入率を改善することが是非とも必要です。どうぞご協力をお願い申し上げます。

★ 会費長期滞納者への機関誌送付停止

9 月の理事会にて、次の通りに決定いたしました。3 年間を越えて会費納入がない会員に対しての機関誌送付を停止する。具体的には、機関誌 11 号は、2003 会計年度（2003 年 9 月—2004 年 8 月）以降の会費滞納者には送付停止。

【 お知らせ 】

◆ 『フランス哲学・思想研究』第 12 号の論文を募集します。

- 1) 原稿の形式：ワープロによる完全原稿。和文・仏文を問わず 1 行全角 43 字（半角 86 字）の設定で横書き、注も含めて 300 行以内。和文・仏文いずれの場合も仏文レジュメ（上記設定でタイトルも含め 12 行以内）を本文とは別のページに付すこと。以上を A4 版 1 ページ 43 字×36 行でプリントアウトしたものを 3 部提出。原稿は返却しない。
- 2) 原稿作成上の注意：アクセントやウムラウト、専門用語に使用される特別な外字などは赤線で囲うこと。欧文のハイフオンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。
- 3) 原稿締め切り：2006 年 12 月末日、郵送必着。80 円切手を貼った返信用封筒、応募者の連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）を明記した別紙を同封すること。

送付先 〒561-0881 豊中市中桜塚 2-13-20 望月太郎

- ◆ 会員の声の原稿を募集します。内容は、海外の学会活動・研究動向の紹介、機関誌掲載の論文・書評への意見等。概ね 2000 字以内。締切・送付先 上記と同じ、望月宛て。
- ◆ 2007 年春季大会（3 月 24 日土曜日、同志社大学）の一般研究発表者を募集します。希望者は、2006 年 11 月末日までに、発表要旨（3000 字程度）3 部および 80 円切手を貼った返信用封筒を、事務局〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫宛にお送り下さい。

【2007年春季研究大会のお知らせ】

2007年春季研究大会を次の要領で開催致します。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- ◆ 日時： 2007年3月24日（土） 10:00～17:00
- ◆ 会場： 同志社大学今出川キャンパス 寧静館5F会議室

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601

JR京都駅より地下鉄烏丸線で約10分、今出川駅下車すぐ（同封地図参照）

一般研究発表 10時～12時40分 司会：杉山直樹（前半）・中田光雄（後半）

- | | | |
|------|----------------------------|-------|
| 若松 猛 | ジュール・ラシュリエの主体概念 | 東京大学 |
| 高島 香 | バシュラールにおける想像力の垂直性と文学的風景の形成 | 同志社大学 |
| 柴田健志 | アンドレ・バザンの映画美学に関する考察 | |
| | —マルロー批判を中心にして | 鹿児島大学 |

沼田千恵 稀少性と人間—サルトル集団における稀少性の位置づけ 同志社大学

シンポジウム 14時～17時

「19世紀フランス・エピステモロジーとベルクソン」 司会：安孫子信

三宅岳史 ベルクソン哲学における非可逆性と偶然性の受容—エネルギー論と原子論の間で
池田祥英 19世紀末のフランスにおける社会学の確立—ガブリエル・タルドの思想を中心として
杉山直樹 「プラグマ」という媒介—エピステモロジーとスピリチュアリズムの交差について

- ◆ シンポジウム終了後、懇親会を予定していますので、是非御参加ください。

【新入会員】（2006年10月以降）

入江容子、佐藤朋子、鶴岡賀雄、馬場智一、渡名喜庸哲

【会費長期滞納の会員の皆さまへ】

★会の財政は危機的状況です。このままだと、定期預金の解約、続いて会費値上げが必至です。会費を長期御滞納の会員の方の御納入があれば、避けられます。封筒に未納額を記しています。多額の方は分納でもかまいません。すぐにお振込をお願い申し上げます。ご協力、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【お願い】

★今年度は名簿を作成し、7月に配付いたします。つきましては、住所・所属等にご変更がある会員の方は、4月末日まで事務局にメールにてお知らせください。宛先：matunaga@l.u-tokyo.ac.jp

【お知らせ】

★2007年9月の大会の一般研究発表を公募します。

- ◆ 研究大会日時：2007年9月8日（土） ◆ 場所：法政大学
- ◆ 発表時間：25分（質疑時間は含みません。発表後、適宜、質疑時間を設けます。）
- ◆ 応募要領：発表要旨（3000字程度）3部および切手を貼った返信用封筒を、5月末日までに事務局（松永澄夫）宛に送ること。採否は6月下旬に通知します。

【日仏哲学会事務局】

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町1043-17 松永澄夫 (Tel: 0297-66-6376)

【2007 年秋季研究大会のお知らせ】

2007 年秋季研究大会を別紙プログラムの要領で開催致します。皆様のご参加をお待ちします。大会および懇親会（会費 4000 円）の出欠を 8 月 20 日までに同封した葉書にてお知らせください。住所変更などがありましたら併せてその葉書に朱筆にてお知らせいただきますようお願いいたします。本年度は、学習院大学が会場ですのでご注意ください。（別紙地図参照。）

【役員改選】

本年 7 月は役員改選をすることになっています（会則第 6 条）。

選挙管理委員会から依頼を受け、事務局で投票用紙等の発送を致します。ご投票、宜しくお願い申し上げます。

【新入会員】（2007 年 2 月以降）

飯野和夫、黒津宏倫、小手川正二郎、千葉雅也、菅田大介

講演会案内

リクールやハイデガー等の研究で知られる Jean Greisch（パリカトリック大学名誉教授）の連続講演会を今秋に開催します。9 月 18 日（日仏会館）、21 日（東大）、24 日（京大）、28 日（京大）の予定です。詳細は杉村靖彦（ysugimura@bun.kyoto-u.ac.jp）まで。

シンポジウム案内

「生の哲学の今—ベルクソン『創造的進化』刊行百周年記念国際シンポジウム」

2007 年 10 月 16—20 日

第 1 日：『創造的進化』の哲学

10 月 16 日（火）学習院大学 創立百周年記念会館小講堂

開会式（10：00—10：30）

セッション 1（10：30—12：10）

フレデリック・ヴォルムス（リール第三大学）＋杉山直樹（学習院大学）

セッション 2（14：00—15：40）

ジャン=クリストフ・ゴダール（ポワチエ大学）＋藤田尚志（日本学術振興会）

セッション 3（16：00—17：40）

ピエール・モンテベロ（トゥールーズ第二大学）＋平井靖史（福岡大学）

全体討議（17：40—18：30）

第2日：哲学史・科学史の中の『創造的進化』

10月17日（水）法政大学 スカイホール（ポアソナードタワー26F）

開会式（10：00－10：30）

セッション1（10：30－12：10）

ジャン・ガイヨン（パリ第一大学）＋安孫子信（法政大学）

セッション2（14：00－15：40）

ポール＝アントワヌ・ミケル（ニース大学）＋金森修（東京大学）

セッション3（16：00－17：40）

アルノー・フランソワ（リール第三大学）＋ミシェル・ダリシエ（パリ中国・日本・チベット文化研究所）

全体討議（17：40－18：30）

第3日：『創造的進化』と現代思想

10月20日（土）京都大学 文学部新館第3講義室

開会式（10：00－10：30）

セッション1（10：30－12：10）

ジョン・マラーキー（英ダンディー大学）＋檜垣立哉（大阪大学）

セッション2（14：00－15：40）

マイケル・コルクマン&マイケル・ヴォーガン（英ウオーウィック大学）＋合田正人（明治大学）

セッション3（16：00－17：40）

スザンヌ・ガーラック（米カリフォルニア大学バークレー校）＋守永直幹（宇都宮大学）

全体討議（17：40－18：30）

■関連企画： ワークショップ「生の哲学の彼方 ベルクソン『道徳と宗教の二源泉』再読」

10月18日（木）東京大学 文学部教員談話室

開会式（10：00－10：30）

セッション1（10：30－12：10）

岩田文昭（大阪教育大学）＋杉村靖彦（京都大学）

〔レスポンス〕フレデリック・ヴォルムス（リール第三大学）

セッション2（14：00－15：00）

瀧一郎（大阪教育大学）

〔レスポンス〕アルノー・フランソワ（リール第三大学）

セッション3（15：20－17：00）

鶴岡賀雄（東京大学）＋中村弓子（お茶の水大学）

〔レスポンス〕ジャン＝クリストフ・ゴダール（ポワチエ大学）

全体討議（17：00－18：00）

【日仏哲学会事務局】

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫 (Tel：0297-66-6376)

日仏哲学会 2007 年秋季研究大会プログラム

期日:2007年9月8日(土) 場所:学習院大学南3号館

一般研究発表 10時～12時40分

A会場:203教室 司会: 桜井直文(明治大学)

- 大野岳史 :スピノザにおける「先立ち prior」について 東洋大学
佐藤真之 :「憐れみ」から「良心」へ —ルソー道德哲学の変遷 慶應義塾大学
佐藤啓介 :＜キリスト教的哲学＞論争再読 —20世紀フランス宗教哲学の一稜線 関西学院大学
菅田大介 :「存在論」における「芸術」をめぐって —メルロー＝ポンティとハイデガー 慶應義塾大学

B会場:201教室 司会: 鈴木泉(東京大学)

- 小手川正二郎:他者と偶像 —レヴィナスにおける哲学と芸術 慶應義塾大学
近藤和敬 :カヴァイエスとデリダの「弁証法」という概念の違いについて 大阪大学
小林卓也 :ドゥルーズにおける構造主義再考 大阪大学

総会 13時30分～13時55分 (201教室)

シンポジウム 14時～17時40分 (201教室)

「ジャック・デリダ追悼シンポジウム」 司会: 湯浅博雄(東京大学)

- 廣瀬浩司 :デリダ『死を与える』をめぐって 筑波大学
鵜飼 哲 :「傷つける真理」 —論争におけるデリダ 一橋大学
若森栄樹 :『絵葉書—ソクラテスからフロイトへ、そしてその彼方』のさまざまなモチーフをめぐって 獨協大学

懇親会 18時～19時40分 (学習院大学文学部棟内 会費4000円)